

授業科目 英語Ⅲ

【担当教員名】 五十嵐紀子	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・栄養・スポ・看護・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：G I O】
パブリックスピーキング
 コミュニケーション理論を学ぶことによって、人前で効果的に話をするために必要なスピーチの基本的事項を学習し、スピーチ原稿の書き方、発音やイントネーションなどの音声面や、身振り・姿勢などを含めた話し方を実践を通して学ぶ。学期の最後には、スピーチの発表会を行い、授業で学んだことを実践する。

【行動目標：S B O】

1. コミュニケーションの基本的概念について理解する
2. スピーチを行う目的に応じた話し方について理解する
3. スピーチを行うために必要な準備について理解する
4. 上記2,3を実践し、「説得」を目的とするスピーチをすることができる
5. 他者のスピーチを聴き、理解・分析することができる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題
1	オリエンテーション	1.2	講義、ディスカッション
2	説得のスピーチ	1.2.5	講義、ディスカッション
3	準備の基本	1.2	講義、ディスカッション
4	模擬スピーチ①	1.2.3	個別学習、個別指導
5	模擬スピーチ②	4.5	発表、相互評価
6	スピーチの準備①	1.2.3.5	講義、ディスカッション
7	スピーチの準備②	2.3.4	個別学習、個別指導
8	スピーチの準備③	2.3.4	個別学習、個別指導
9	スピーチの準備④	2.3.4	個別学習、個別指導
10	スピーチの準備⑤	2.3.4	個別学習、個別指導
11	スピーチの準備⑥	2.3.4	個別学習、個別指導
12	スピーチの準備⑦	2.3.4	個別学習、個別指導
13	スピーチの準備⑧	4.5	発表、相互評価、相互評価
14	発表会	4.5	発表、相互評価

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	指定しない			
参考書	カーネギー 話し方入門	市野安雄(訳)	創元社	2003年発行 1,500円 指定図書として図書館に所蔵
その他の資料	必要に応じてハンドアウトを配布する。			

【評価方法】 毎時間の取り組み、授業外での発表準備、学期末のスピーチ発表等を総合的に評価する。	【履修上の留意点】 ・スピーチ原稿の添削、発音指導など授業外での個別指導が必要になるため、計画性を持って課題をこなすこと。
--	--